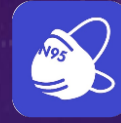


新興感染症発生を想定した訓練の実施

盛岡赤十字病院 院内感染対策チームでは、保健所や医師会、地域の医療施設と連携し、感染対策の向上を目的にして年に4回の合同カンファランスを実施しています。そのうち1回は訓練を企画することになっており、この度、2024年6月19日に14施設の67名が参加して新興感染症発生を想定した訓練を実施しました。その様子をご報告いたします。



訓練では、コロナウイルスよりも感染力の強いウイルス感染症の発生を想定して、様々な空気感染対策を参加者に体験していただきました！



◆ N95マスクフィットテスト

N95マスクが着用者にフィットし、接顔部の漏れが最小であるかどうかを調べる定量フィットテストを体験しました。

◆ 空気感染隔離ユニット入退室体験

この TENT を病室の入口につけるだけで空気感染隔離室になります。TENT 内の空気を陰圧装置で吸い出し、病室の空気がもれださないよう管理できます。

◆ 電動ファン付呼吸保護具着脱体験

N95マスクの代わりにHEPAフィルター搭載の電動ファン付呼吸保護具を着けてフルPPEの装備をしました。

◆ レッドゾーン内の見学



再流行するかもしれないウイルス感染症に備えることの大切さを実感し、様々な空気感染対策の体験を通じて日頃の感染対策の実践の重要性を再認識した訓練となりました。